

ごみ処理における課題

柏市のごみの排出状況，組成調査，webによる市民アンケート(以下「市民アンケート」。)等の結果を踏まえ，下記のとおりごみ処理における課題を整理しました。

1. 排出段階での課題

①家庭系ごみ

【排出量】

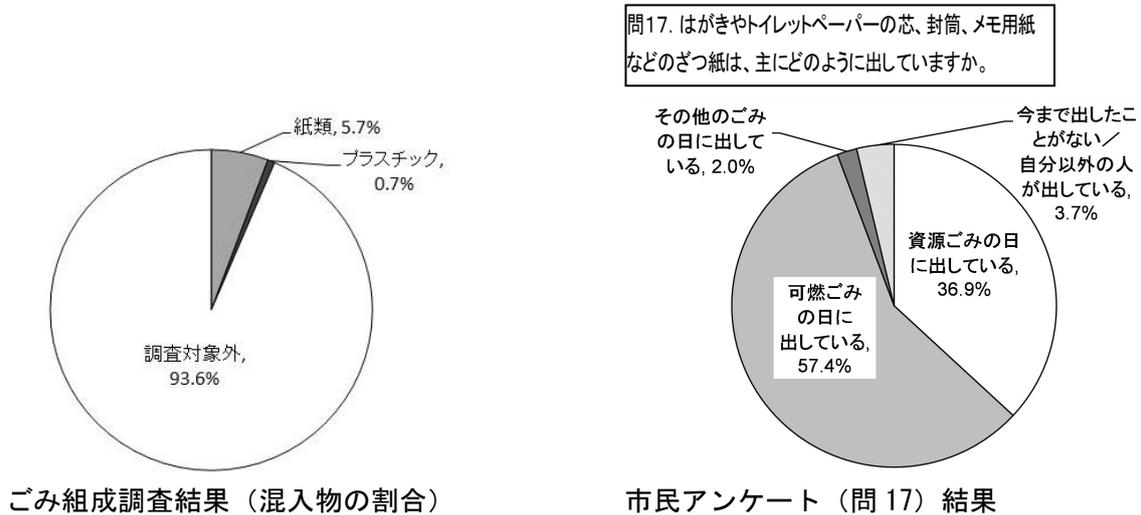
近年，旧柏地域における家庭系ごみの排出原単位は減少傾向で推移しており，千葉県平均より少ない現状にあります。しかしながら，市川市，松戸市等の近隣自治体よりは多い状況にあり，さらなる減量が課題となっています。

千葉県内市町村との比較（平成 26 年度 家庭系ごみの排出原単位）

排出原単位順位（少ない順）			排出原単位順位（少ない順）			排出原単位順位（少ない順）		
順位	市区町村名	排出原単位 (家庭系)	順位	市区町村名	排出原単位 (家庭系)	順位	市区町村名	排出原単位 (家庭系)
1	芝山町	406	21	柏市	644	41	九十九里町	744
2	多古町	423	22	鎌ヶ谷市	649	42	市原市	747
3	横芝光町	474	23	浦安市	663	43	香取市	748
4	匝瑳市	496	24	習志野市	686	44	茂原市	757
5	長柄町	496	25	富津市	688	45	神崎町	760
6	長南町	533	26	流山市	690	46	八街市	760
7	長生村	559	27	富里市	691	47	酒々井町	764
8	山武市	573	28	栄町	693	48	勝浦市	768
9	白子町	574	29	船橋市	694	49	大網白里市	772
10	大多喜町	582	30	佐倉市	702	50	白井市	793
11	睦沢町	589	31	四街道市	706	51	南房総市	795
12	東庄町	609	32	印西市	708	52	鋸南町	824
13	野田市	630	33	木更津市	710	53	館山市	838
14	旭市	631	34	一宮町	711	54	銚子市	911
15	君津市	634	35	成田市	713	55	御宿町	957
16	八千代市	635	36	東金市	725	県平均		677
17	松戸市	638	37	我孫子市	727			
18	市川市	639	38	鴨川市	728			
19	旧柏地域	639	39	袖ヶ浦市	733			
20	千葉市	642	40	いすみ市	741			

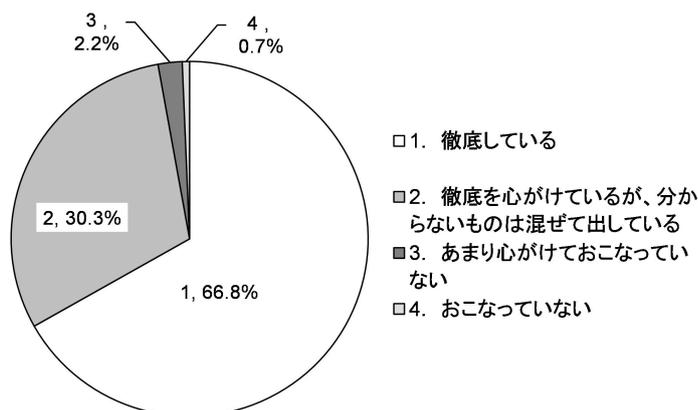
【資源化可能物の混入・分別の不徹底】

今回，家庭系可燃ごみの排出状況について調査した結果，資源化可能な紙類が平均約 6%混入していることが分かりました。また，市民アンケートでは，ざつ紙を資源ごみの日に出しているという回答された方は 36.9%に留まっており，資源化可能な紙類がごみとして排出され資源化されていないことが課題となっています。



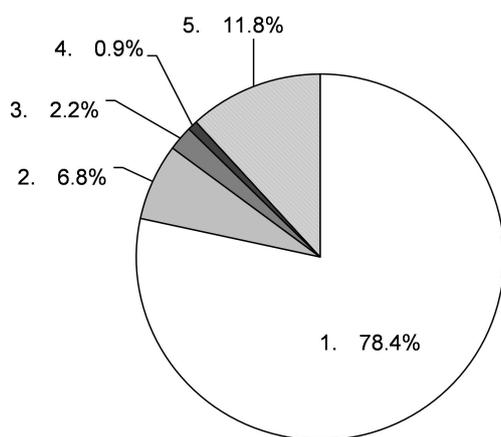
次に、分別の取組について、市民アンケートでは、「分からないものは混ぜて出している」、「あまり心がけておこなっていない」又は「おこなっていない」との回答が33.2%見られ、不燃ごみを排出する際電池を取り除かずにそのまま不燃ごみに出されている方が9%に及んでいます。また、容器包装プラスチック類について平成26年度の容器包装ベールの品質評価で禁忌品の混入により評価が下がるなど、資源化可能物以外の混入もみられるなど、分別の不徹底が課題となっています。

問6. ごみの分別はどの程度行っていますか。



市民アンケート（問6）結果

問19. リモコン、時計、おもちゃ等を不燃ごみで出す際、使用されていた電池は、取り除いて有害ごみの日に出していますか。



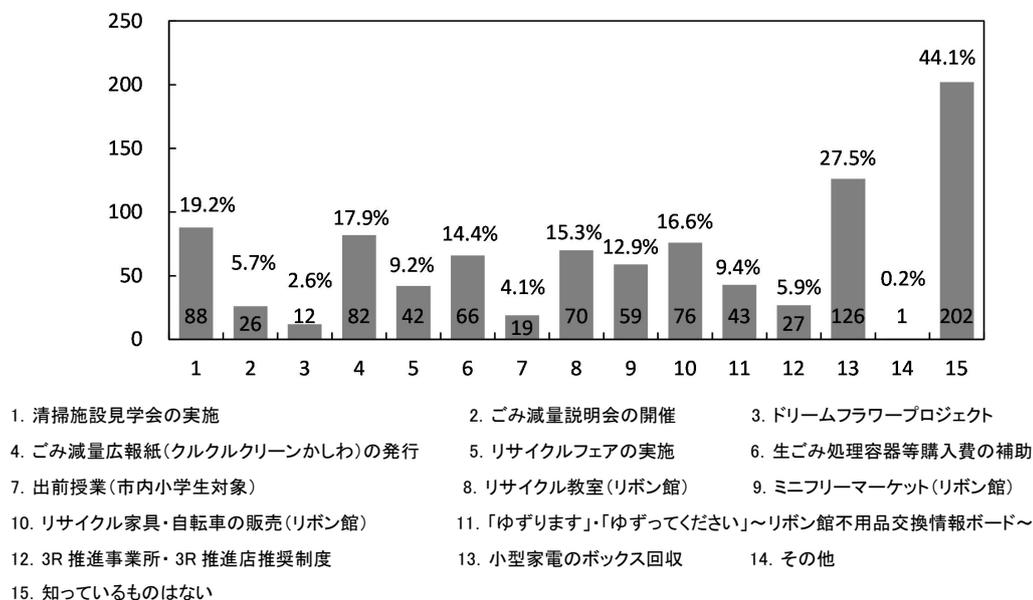
選択肢	回答数
1. 取り除いて有害ごみの日に出している	359
2. 分別方法が分からないので、取り除かずにそのまま不燃ごみとして出している	31
3. 手間がかかるので、取り除かずにそのまま不燃ごみとして出している	10
4. その他	4
5. 今まで出したことがない／自分以外の人が出している	54
合計	458

市民アンケート（問19）結果

【情報周知の不足】

柏市がおこなっている施策について、市民アンケートでは、「知っているものはない」との回答が44.1%となっています。また、今後必要な施策として多くの方が「分別が分かりにくいものを広報などで定期的に取り上げること」をあげており、情報周知の不足も課題となっています。

問 12 柏市がおこなっている以下の施策について、知っているものを全てお選びください。



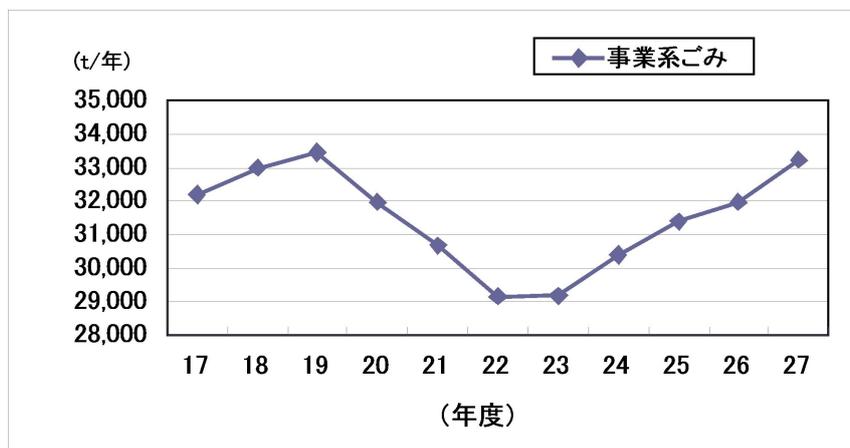
市民アンケート（問12）結果

【高齢化社会への対応】

全国的に高齢化社会が進んでおり、全国の高齢化率は26.7%（平成27年10月1日現在）となっています。現在の本市における高齢化率は23.8%（平成27年4月1日現在）で、千葉県内市町村と比べると44位（全54市町村）と低い状況ですが、今後は増加していくと予想されます。高齢者の増加に伴い、日常生活におけるごみの排出が困難になる市民も増えると考えられるため、これらの市民をサポートする体制の構築が必要です。

②事業系ごみ

近年、事業系の排出量は増加傾向にあり、その減量が課題となっています。



事業系ごみ総排出量の推移

2. 収集運搬に関する課題

平成 27 年 10 月から可燃ごみ等の一部の収集事業において、民間委託に移行しています。しかしながら、ごみ収集業務を担う市職員数は年々減少かつ高齢化しており、安定的なごみ収集を継続するため、民間事業者への委託について引き続き検討が必要な状況にあります。

3. 中間処理に関する課題

【焼却施設】

柏市全体では、柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合が運営するクリーンセンターしらさぎ、柏市が運営する北部クリーンセンター及び南部クリーンセンターの 3 つの焼却施設があります。これらの施設の効率的な再整備による広域処理の可能性の検討は継続しています。このような中、施設の老朽化が進んでいることから、各清掃施設の機能を合理的かつ効率的に維持・更新・修繕していく必要があります。

【リサイクル施設】

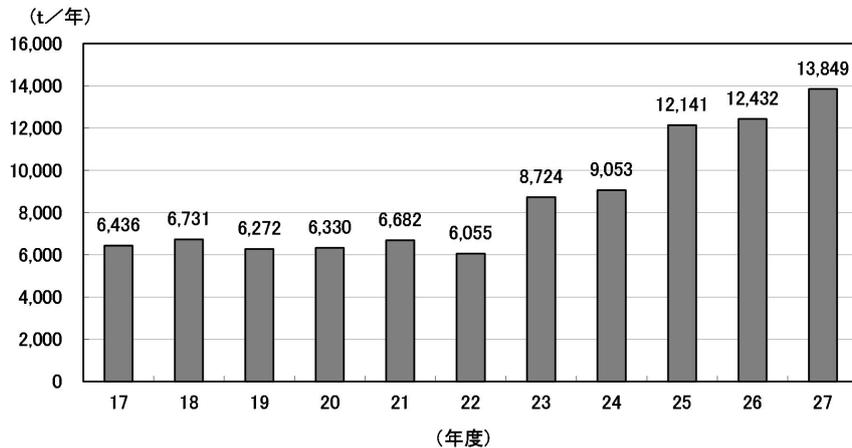
現施設は施設の稼働から 14 年が経過し、今後老朽化が進んでいくことから、長寿命化計画の策定、計画に基づく対策工事を行い施設機能の維持・更新を図る必要があります。

施設名	稼働開始年月	稼働年数	場所
①北部クリーンセンター(焼却工場)	H3 年 4 月	25 年	船戸山高野 538
②南部クリーンセンター(焼却工場)	H17 年 4 月	11 年	南増尾 56-2
③クリーンセンターしらさぎ(焼却工場)	H12 年 4 月	16 年	藤ヶ谷 1582
④粗大ごみ処理施設(破碎施設)	S52 年 9 月	38 年 7 月	船戸山高野 538
⑤柏市リサイクルプラザ(選別・加工施設)	H14 年 4 月	14 年	十余二 348-202

ごみ処理関連施設一覧(平成28年4月1日現在)

4. 最終処分に関する課題

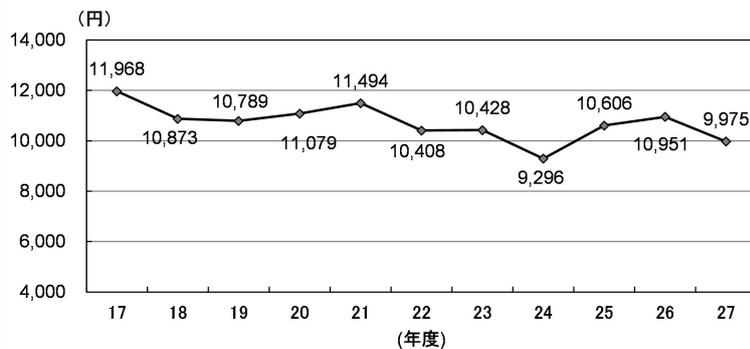
最終処分量の推移をみると、近年大幅に増加しており、現計画の目標値（平成27年度3,500t以下）を達成できていません。平成23年度以降、焼却灰から基準値を超える放射性物質が確認されたため、焼却灰等の資源化を中止していることが要因です。現在も、放射性物質を含む草木類の焼却量等を調整しながら、処理を継続する必要があることから、最終処分量やその処理費用を軽減できないことなどが課題となっています。しかしながら、放射能濃度は徐々に減少する傾向がみられることから、今後は、最終処分量の削減や処理費の軽減を目指す必要があります。



最終処分量の推移

5. 廃棄物処理費用に関する課題

1人当たりのごみ処理費の推移をみると、約9,000～11,000円の間で横ばい状況が続いています。今後の処理費用の動向をみながら、ごみの減量やリサイクルに対する施策について検討していく必要があります。



1人当たりのごみ処理費の推移（減価償却費を除く）

6. 災害発生時の廃棄物処理に関する課題

現在、本市の災害発生時の廃棄物処理については、地域防災計画に位置付けています。しかし、東日本大震災をはじめ、豪雨・竜巻・台風・地震等の甚大な被害をもたらす災害が近年増加していることから、より迅速かつ円滑に対応できるよう災害廃棄物処理計画の策定や体制の整備が求められています。

7. 放射能に関する課題

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質を含むごみを焼却した結果、指定廃棄物（放射能濃度が1キログラムあたり8,000ベクレルを超える焼却灰）が生じたため、柏市では仮保管を行っています。指定廃棄物については、国の責任のもと、適切な方法で処理することとなっており、現在、指定廃棄物長期管理施設の候補地選定等が進められています。国が同施設を確保するまで、指定廃棄物の適切な保管を継続する必要があります。

8. 1市2制度について

柏市は旧柏市域と旧沼南町域の1市2制度が継続していることから、市民サービスの平準化に向けて、その改善が求められています。